

保育所の日

保育所は、保育課程や指導計画に基づき、各保育所の独自性や創意工夫を活かし、子どもの生活と遊びが豊かに展開されています。また、乳幼児期に最もふさわしい生活の場を豊かにつくりあげていきます。

〈主な活動〉

年齢に応じた指導計画を立て計画的に活動しています。

〈保護者に対する支援〉

保育の専門性を生かして、安定した親子関係や養育力の向上を図るため、入所児童の保護者や地域の子育て家庭への支援をしています。



〈給食〉

明るく和やかな雰囲気の中、栄養バランスのとれた給食を食べます。友達と一緒に食事をするを楽しみ、食への関心を高めていきます。

〈あそび〉(午前・午後)

遊びを通して思考力や想像力を養い、身の回りの環境に関わろうとする意欲や態度を育てます。異年齢の子ども同士による相互作用で、いたわりや思いやりを感じたり、あこがれを持たったりします。また、仲間との関係を育み、その中で成長を促していきます。

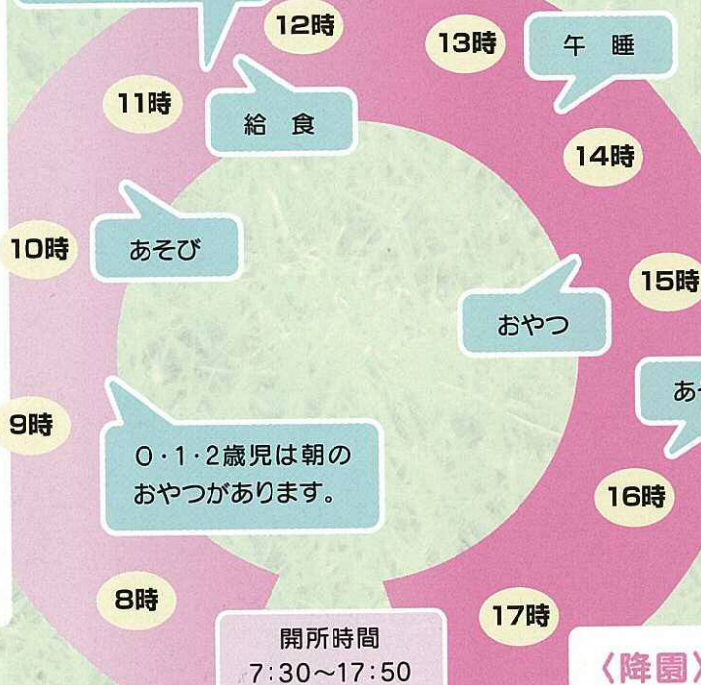
「遊びの中で育つ力」

遊びは子どもにとって主体的な活動であり、遊びは人として成長していくためのあらゆる要素が含まれています。

〈登園〉

保護者と一緒に登園します。家庭での様子を伝えてもらいます。

0歳児は離乳食があります。



〈午睡〉

心身の疲労を癒したり緊張を緩和したり、一人ひとりの生活リズムに合わせて適度な休息や午睡が取れるようにします。



〈降園〉

保護者と一緒に降園します。保護者と子どもの成長の喜びを共有するため、継続的なかわりや対話を重ねていきます。また、19時までの延長保育を実施している保育所や夜間保育所もあります。



『保育所の目的と特性とは』

保育所は、児童福祉法に規定された「児童福祉施設」です。子どもの最善の利益を考え健全な心身の発達を図ることを目的に、保育の専門性を有する職員が、家庭との緊密な連携の下に、子どもの状況や発達過程を踏まえ、保育所における適切な環境を通して、「養護および教育を一体的に行う」ことを特性としています。

また、「養護」とは、子どもの生命の保持および情緒の安定を図るために保育士などが行う援助や関わりです。「教育」とは、子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助であり、「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5領域から構成されるものです。

小学校の一日

〈登校〉

通学路を通って登校します。



〈朝の会・朝の学習〉

朝のあいさつや健康観察などをします。読書や音読、計算などの取組をすることもあります。

〈授業〉

時間割にそって、学習します。学習内容やそれぞれの教科の単元は、学習指導要領で決められています。子どもの実態や地域の特色を生かしたカリキュラム(教育課程)を学校で編成し、それに沿って学習が進められます。授業1時間は45分間です。午前中は4時間目まであります。教室だけでなく、体育館や校庭、地域に出て学習することもあります。



〈休み時間〉

授業と授業の間は、5分間の休み時間があります。トイレに行ったり、次の学習の準備をしたりします。2時間目が終わると15~20分の「中休み」があります。

〈給食の時間〉

給食当番は、エプロンなどに着替えて、給食を運んだり、配膳をしたりします。先生や友達と一緒に楽しく食べます。食べたあとは、給食当番は、食器などを給食室に運びます。



〈昼休み〉

昼休みには友達と一緒に運動場や教室で遊んだり、図書室で読書をしたりします。

〈掃除時間〉

教室や廊下などを自分たちできれいにします。



〈授業〉

基本的に給食が始まると5時間目の授業があります。

〈帰りの会〉

今日のことを振り返ったり、明日の連絡を聞いたりします。

〈下校〉

通学路を通って下校します。

ある学校の一日の例

※時間は、おおよその目安です。学校により多少の違いがあります。

8:30~ 8:50

朝の会・朝の学習

8:50~12:20

午前中の授業
(1時間目~4時間目)

12:20~13:05

給食の時間

13:05~14:15

昼休みや掃除の時間

14:15~15:00

午後の授業(5時間目)

15:00~15:15

帰りの会



「あれえ、おひげがいっぱいはえてるよ。」
自分たちで育て、自分たちで収穫したトウモロコシ。皮をむいたばかりのほのかな匂いや、まだ固いつぶつした手の感触を味わいながら準備に夢中になる子どもたち。



「まだ眠れないね。もっと遊びたいのかな？」
「眠れるようにトントンしてあげよう。」
僕たちも小さい頃はこんなふうに寝かせてもらっていたのかな。ふとした会話の合間にやさしい心が芽生えます。



「ほし組スターのおむすびはおいしいよ！買って行ってよ。」
「いくらですか？」「1個100円です。」「じゃあ、これで1個ください。」
年長さんが作ったおにぎりを小さいお友達がきちんとお金を払って買っていきます。遊びながら学ぶ買い物ごっこ。買い物って楽しいね。



小さい子どもたちがおもちゃで遊ぶ姿を見たら、私もなんだか嬉しくなりました。幼児と触れ合う経験をして、私も小さい頃からこうやって育てられてきたんだなあと感じました。
(小学生の感想より)



「このお芋はごつごつしてるよ。」
「何か幼虫が出てきたよ。かぶと虫の子もかなあ」
「こんなに大きくなったのは、お水をいっぱいあげたからかなあ。」
驚きや発見の会話を楽しみながら、一緒に育てた畑で、一緒に収穫を楽しんだ保幼小の子どもたち。



「どこまで高く積めるかな。」
「すごいね！こんなに高く積めたよ。」
日ごろの遊びの中で、ひとつのものをみんなで作る難しさや楽しさを学んでいます。



「お姉ちゃん、このマーガリンの袋が開かないんだけど？」
「まだ指先が器用じゃないから、むずかしいんだね。」
「少し開けてあげるから、後は自分でやってみてね。」
一緒に給食を食べる楽しさを共有し、関わることから優しさや思いやりの心が育まれていきます。



小学校「今度は、6月の学校探検を一緒にやりませんか？」
幼稚園「ペアはどうやって決めましょうか？」
保育所「1年間を通してペアを決めたら、仲良くなっていく過程がよく見えるかも知れませんね。」
一緒に活動の相談をすることで、お互いの教育観や教育理念が共有されていきます。

幼稚園の一日

〈好きな遊びや学級等での活動〉

一人一人の興味や関心に応じて好きな遊びをしたり、教師の意図のもとグループや学級全体での活動をしたりします。

幼稚園では「遊び」を通して小学校以降の生活や学習の基盤を育成しています。幼児は、遊びの中で多くの「学び」をしています。好奇心や探究心、協同性や道徳性の芽生えなど様々な力がはぐくまれていきます。幼児期には、しっかり遊ぶこと、豊かな体験をすることが重要です。

～遊びの中ではぐくまれる学び～

- ・基本的な生活習慣
- ・思考力の基礎
- ・自立心
- ・言葉の獲得
- ・社会性
- ・表現力 など

幼稚園には、時間割や休み時間はないんだよ。
※活動は、1日が単位になります。



〈昼食の時間〉

家からお弁当を持ってきたり、給食があったり、園によって違いがあります。

みんなで一緒に食べる楽しさを味わわせながら、食事のマナーや偏食改善など、食に関する指導を行います。



昼食

教育課程の時間

〈先生 おはよう〉

朝のあいさつを交わしながら、子どもたちの心身の健康状態を読み取っていきます。



〈登園〉

親子での通園や徒歩通園、通園バス利用など様々な登園方法があります。



登園

教育課程の時間終了後



〈午後の活動〉

朝の遊びの続きをしたり、絵本・紙芝居の視聴や制作などの活動をしたり、園庭で遊んだり、指導計画に基づいた活動を行います。

〈教育課程の時間終了後の活動〉

地域や保護者の要請によって希望者を対象に、預かり保育等を行っている園もあります。その内容や形態は、園によって様々です。

〈降園〉

保護者が迎えに来たり、通園バスで送ったり、降園方法や降園時間などは園によって違います。

「幼稚園の教育活動について」

幼稚園は、学校教育法に規定された「学校」です。

学校教育法の規定に基づいた幼稚園教育要領に従って、各園で定めた教育課程に則り、毎日の教育が展開されます。教師が総合的な指導を行う視点として、「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5つの領域があります。

また、登園時間や降園時間、活動形態などは、園によって違いがあります。

飼育物や栽培物の世話をしたり、友達にプリントを配ったりなど、当番や係活動もするよ。

